

全めん通信

発行所
 全国製麺協同組合連合会
 東京都江東区森下3-14-3
 電話 03 (3634) 2255 (代表)
 FAX 03 (3634) 1930
 編集発行人
 金子増男

全国製麺協同組合連合会

第60回通常総会ひらく

全国製麺協同組合連合会(鳥居憲夫会長)

は6月24日(金)東京都千代田区・KKRホテル東京において第60回通常総会を開催した。

司会者の子増男専務理事より、所管官庁の農林水産省より本日ご臨席をいただいた大臣官房新事業・食品産業部 新事業・食品産業政策課の長野麻子課長、食品製造課の二井敬司課長補佐、堀井絵美子めん・パン関係長のご紹介をされ、長野課長からご挨拶をいただいた。



「食品の安定供給にご協力いただいておりますこと感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症もこのまま落ち着いて今後の需要が回復することを期待したい。小麦、原油等の高騰には適正な価格転嫁が行われるよう農林水産省としても「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」を推進するとともに、また、製造事業者については昨年12月に策定した「食品製造業・小売業者間における適正取引推進ガイドライン」の活用をお願いしたい。また、来週には価格が高騰している輸入食品原材料を使用する食品製造事業者等に対しての支援の「輸入小麦等食品原料価格高騰緊急対策事業」の支援の公募が発表される予定なので活用を頂きたい。」

次に司会者より本通常総会は定足数を満たしており適法に成立している旨を報告した後、開会の言葉を古川宗夫副会長(佐賀県生麺組合理事長)が述べ、主催者代表挨拶を鳥

居憲夫会長(東京都中華製麺製造業協組理事長)が述べた。

「3年ぶりに対面での開催ができた。まだ新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、主原料の小麦、蕎麦、また副原料、添加物及び原油価格等の高騰により厳しい状況にある。令和4年度の主な事業として適正取引の推進を図っていくとともに、製麺従事者が製麺技術を学べる場を創出するための「製麺通信講座」や、国内産小麦を利用した生中華麺の「品評会」を行ない、製麺技術の向上と国内産小麦の需要拡大を図っていききたいので、引き続き役員、会員及び関係機関の皆様のご協力をお願いします。」

議長には、川崎昌明副会長(東京都製麺協組理事)が就任し、議事録署名人選出は定款に則り、議長及び本日出席した理事、監事が行う旨の説明が議長からあった後に、議案の審議を行ない、提出された全ての議案は満場一致をもって異議なく可決した。

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件
- 第3号議案 令和4年度事業計画決定の件
- 第4号議案 令和4年度収支予算決定の件
- 第5号議案 令和4年度会員の経費の賦課及び徴収方法決定の件
- 第6号議案 令和4年度借入金金の最高限度額決定の件
- 第7号議案 役員改選の件

会計監査の報告は大島信二監事(新潟県なまめん工業協組理事長)より、適正適法なも

主な内容

- 1面 全国製麺協同組合連合会第60回通常総会
- 2面 全国生めん類公正取引協議会第46回通常総会
- 2面 賀状贈呈式
- 2面 全国製麺協同組合連合会理事会(第2回)総会終了後の懇親懇談会
- 3面 新役員一覧
- 4面 全麺連青年部連合会第49回通常総会
- 5面 全国めん類衛生技術センター第37回通常総会(二社)日本冷凍めん協会第19回通常総会
- 6面 ラーメンコンペティション日本2022を開催
- 7面 第62回全国製麺業者埼玉大会を開催
- 7面 農林水産省補助事業輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業
- 8面 家計調査

のと認める旨の報告がされた。

第7号議案の任期満了に伴う役員改選では、理事候補者24名、監事候補者4名が選任された。

閉会の言葉を、石田弘榮副会長(石川県製麺工業協組理事長)が述べて閉会した。

(令和4年度事業計画(基本方針))

- ① 組織の強化を図る。
- ② 変革する時代に対応し得る経営の安定と経営基盤の強化を図る。
- ③ 品質・衛生管理の基盤強化を図る。
- ④ 製麺技術の向上を図る。
- ⑤ 生麺類の普及を図る。
- ⑥ 関係法令の遵守の徹底を図る。
- ⑦ 適正取引推進のための事業。
- ⑧ 消費税法への対応を図る。
- ⑨ 食べて応援しよう!被災地を応援。

全国生めん類公正取引協議会 第46回通常総会ひらく

全国生めん類公正取引協議会（鳥居憲夫委員長）は6月24日（金）東京都千代田区・K Rホテル東京において第46回通常総会を開催した。

司会者の金子増男常任委員より、本通常総会は定足数を満たしており適法に成立している旨を報告した後、開会の言葉を石田弘榮副委員長（石川県製麺工業協組支部長）が述べ、主催者代表挨拶を鳥居憲夫委員長（東京都中華製麺協組支部長）が述べた。
所管官庁挨拶には消費者庁表示対策課より南 雅晴課長と清水 喬規約第三係長がご出席され、南課長より挨拶をいただいた。

議長には、鳥居憲夫委員長が就任し、議事録署名人選出には議長及び中橋清貴茨城県製麺協組支部長と藤原正敏愛知県製麺工業協組支部長を選出した後、議案の審議を行ない、提出された全ての議案は満場一致をもって異議なく可決した。

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件
- 第3号議案 令和4年度事業計画決定の件
- 第4号議案 令和4年度収支予算決定の件
- 第5号議案 令和4年度会員の会費の分担基準及びその納入方法決定の件
- 第6号議案 役員改選の件

会計監査の報告は尾関郁夫監事（岐阜県製麺協組支部長）より、適正適法なものと認められる旨の報告がされた。

第6号議案の任期満了に伴う役員改選では、常任委員候補者24名、監事候補者3名が選任された。

閉会の言葉を、太田年明副委員長（大阪府製麺商工業協組支部）が述べ閉会した。

賀状贈呈式

全国生めん類公正取引協議会第46回通常総会終了後に、令和4年春の叙勲の栄に浴された当会の古川宗夫副会長、柏木隆夫理事に賀状と記念品が鳥居憲夫会長より贈呈され、受賞者より謝辞をいただいた。

令和4年春の叙勲

古川 宗夫（ふるかわ ひねお）

旭日双光章（食品衛生功労）

佐賀県生麺組合理事長

全国製麺協組連副会長

柏木 隆夫（かしわざ たかお）

旭日双光章（中小企業振興功労・食料品加工業振興功労）

和歌山県製麺協組理事（前理事長）

全国製麺協組連理事

第2回理事会ひらく 鳥居会長を再任、2期目へ

第60回通常総会終了後に第2回理事会を開催し、代表理事（会長）、副代表理事（副会長）、専務理事及び常務理事を選出した。

（1）代表理事（会長）の選任の件

〈再任〉

鳥居憲夫
（東京都中華製麺協組理事長）



鳥居 憲夫 会長

（2）副代表理事（副会長）の選任の件

〈再任〉

佐々木 剛（北海道製麺協組理事長）

石田弘榮（石川県製麺工業協組理事長）

古川宗夫（佐賀県生麺組合理事長）

〈新任〉

岩崎一隆（埼玉県生麺業組理事長）

奥野貴史（京都府製麺卸協組理事長）

（3）専務理事の選任の件

〈再任〉

金子増男（神奈川県製麺協組副会長）

栗田晴巳（埼玉県生麺業組理事）

（4）常務理事の選任の件

〈再任〉

堀 哲次（三重県製麺協組理事長）

田村昌生（岡山県製麺協組理事長）

大峯茂樹（本場さぬきうどん協組理事長）

〈新任〉

大西盛明（栃木県製麺組合組（会長）

兼平賀章（岩手県生めん協組理事長）

末吉正信（大阪府製麺商工業協組理事長）

なお、全国生めん類公正取引協議会の委員長には全国製麺協組連会長が、副委員長には全国製麺協組連副会長5名が同じく選任された。

総会終了後の 懇親懇談会

総会終了後の懇親懇談会には、当会会員及び御来賓の75名が参加し開宴された。

司会者の金子増男専務理事より、本日の役員改選で三役に就任された全国製麺協組連の会長、副会長、専務理事の紹介を行ない、代表して鳥居憲夫会長が挨拶を述べた後、本日も出席された関連団体の代表者の紹介を行ない、乾杯のご発声を前鶴俊哉製粉協会会長（株式会社ニッポン代表取締役社長）がされた後、歓談に入った。歓談中に片山さつき参議院議員の代理としてご主人の片山龍太郎氏がご来場しご挨拶をいただいた。

閉宴の辞には岩崎一隆副会長（埼玉県生麺業協組理事長）が、本年10月12日（水）に埼玉県さいたま市・パレスホテル大宮で開催する「第62回全国製麺業者埼玉大会」の紹介とご参加のお願いをした後、手締めを行ない閉宴した。

計 報

出 雲 勉（いずも つとむ）

令和4年4月24日逝去 享年76歳

元兵庫県生麺協同組合理事長

元全国製麺協同組合連合会理事

淡路製業株式会社取締役相談役

（兵庫県淡路市）

全国製麺協同組合連合会

[令和4年6月24日改選]

全国生めん類公正取引協議会

[令和4年6月24日改選]

会 長	鳥 居 憲 夫	(東京都中華麵)
副 会 長	佐 々 木 剛	(北海道)
同	石 田 弘 榮	(石川県)
同	古 川 宗 夫	(佐賀県)
同	岩 崎 一 隆	(埼玉県)
同	奥 野 貴 史	(京都府)
専 務 理 事	金 子 増 男	(神奈川県)
同	栗 田 晴 巳	(埼玉県)
常 務 理 事	堀 哲 次	(三重県)
同	田 村 昌 生	(岡山県)
同	大 西 盛 明	(栃木県)
同	兼 平 賀 章	(岩手県)
同	末 吉 正 信	(大阪府)
常 務 理 事 兼 常 務 監 事	大 峯 茂 樹	(本場さぬきうどん)
同	西 山 隆 司	(北海道)
同	柏 木 隆 夫	(和歌山)
同	吉 田 安 宏	(長崎県)
同	池 田 政 弘	(東京都)
同	大 島 信 二	(新潟県)
同	大 諸 橋 一 郎	(福島県)
同	小 宮 山 明	(東京都)
同	中 橋 清 貴	(茨城県)
同	藤 代 孝 之	(千葉県)
理 願 監 事	前 場 敏 男	(神奈川県)
同	富 江 彦 仁	(滋賀県)
同	尾 関 郁 夫	(岐阜県)
同	宮 原 博 幸	(東京都)
同	堀 敬 祐	(公認会計士)

委 員 長	鳥 居 憲 夫	(東京都中華麵)
副 委 員 長	佐 々 木 剛	(北海道)
同	石 田 弘 榮	(石川県)
同	古 川 宗 夫	(佐賀県)
同	岩 崎 一 隆	(埼玉県)
同	奥 野 貴 史	(京都府)
常 任 委 員	金 子 増 男	(神奈川県)
同	栗 田 晴 巳	(埼玉県)
同	堀 哲 次	(三重県)
同	田 村 昌 生	(岡山県)
同	大 西 盛 明	(栃木県)
同	兼 平 賀 章	(岩手県)
同	末 吉 正 信	(大阪府)
同	大 峯 茂 樹	(本場さぬきうどん)
同	西 山 隆 司	(北海道)
同	柏 木 隆 夫	(和歌山県)
同	吉 田 安 宏	(長崎県)
同	池 田 政 弘	(東京都)
同	大 島 信 二	(新潟県)
同	大 諸 橋 一 郎	(福島県)
同	小 宮 山 明	(東京都)
同	中 橋 清 貴	(茨城県)
同	藤 代 孝 之	(千葉県)
同	前 場 敏 男	(神奈川県)
監 事	富 江 彦 仁	(滋賀県)
同	尾 関 郁 夫	(岐阜県)
同	宮 原 博 幸	(東京都)

◎チェーン移行式自動茹上機
 ◎チェーン反転式自動茹上機
 ◎手動式茹麺長釜
 ◎圧力式蒸気長釜(二重底式)
 ◎冷水機
 ◎殺菌庫無圧レトルト式半生麺殺菌可
 ◎リフト式殺菌庫
 ◎貫流ボイラー
 ◎東京ガス認定ガス茹釜


(株) ヒゲタ

営業所 東京都足立区千住東2-19-15
 〒120-0025 電話 03(3882)8035(代) FAX 03(3882)8033
 工場 東京都足立区南花畑3-23-25
 〒121-0062 電話 03(3884)0054(代) FAX 03(3884)0692

M.Y.式製麺機
製麺プラント設計


 株式会社 **丸菊麺機**

本社 ☎111-0042 東京都台東区寿4-1-6
 ☎03-3844-8822(代)
 工場 ☎120-0012 東京都足立区青井3-21-3
 ☎03-3848-1688(代) FAX 03-3848-1488

粉末かんすい
 生中華麺用、調理麺用、
 焼そば用、乾麺用、冷凍麺用など
 ご要望に応じた製品を取りそろえております。

下記製品も取りそろえております。
 <揚げ麺の吸油を抑える>
飛電 揚げ麺用
 <生そば・うどんの日持ちを向上する>
フレッシュロンSU
 <そば・うどんの茹で液けを防止する>
クッキングメートUP


オリコ飛電


オリエンタル酵母工業株式会社
 〒174-8505 東京都板橋区小豆沢3-6-10
 食品事業本部 Tel. 03-3968-1116

第49回通常総会ひらく

池田会長が続投 全麵連青年部連合会

全麵連青年部連合会(池田政弘会長)は6月4日(土)愛知県名古屋市長古屋マリオットアソシアホテルにおいて第49回通常総会を開催した。



池田 政弘 会長

開会の言葉は、松平孝司副会長(北海道製麺協組)、会長挨拶では池田政弘会長(東京都製麺協組)が新型コロナウイルス感染症の影響により私が会長になって初めての対面の総会開催となる。今までは制約もあり思うように事業が行えなかったが、今後は青年部としての活動を積極的に推進していくのでご協力をお願いすると述べた。

ご来賓として鳥居憲夫全国製麺協組連合会長と藤原正敏愛知県製麺工業協組理事長がご臨席され、来賓あいさつを鳥居全麵連会長よりいただいた。

場長に池田会長が就任し、議事録署名人選出には池田議長と片野宏幸福島県生麺協組青年部長と小幡洋也東京都製麺協組青年部長を選出した後、議案の審議を行ない、提出された全ての議案は満場一致をもって異議なく可決した。

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件
- 第3号議案 令和4年度事業計画決定の件
- 第4号議案 令和4年度収支予算決定の件
- 第5号議案 令和4年度会員の会費の分担基準およびその納入方法決定の件

第6号議案 役員改選の件
役員改選では、池田政弘会長が再任された。閉会の言葉を、山田啓方幹事(大阪府製麺商工業協組)が述べて閉会した。総会終了後に懇親懇談会を会員及び御来賓を含む32名が参加し開催した。(令和4年度の主な事業の実施内容)

- ① 会議の開催
- ② 的確な情報の提供とその周知
- ③ 研修会などの実施
- ④ 事業などの協力と連携
- ⑤ 販売促進への取組
- ⑥ 創立50周年記念行事への取組
- ⑦ 会員の加入促進
- ⑧ 青年部活動の活性化施策の検討とその対応
- ⑨ その他必要と思われる事業

- 〈役員名〉
- 会長(代表幹事、関東ブロック長) 池田政弘(東京都製麺協組)
- 副会長(副代表幹事) 松平孝司(北海道製麺協組)
- 幹事(近畿ブロック長) 山田啓方(大阪府製麺商工業協組)
- 幹事(九州ブロック長) 石橋俊章(福岡県生麺組連)
- 幹事(東北ブロック長) 片野宏幸(福島県生麺協組)
- 幹事 豊島康之(東京都製麺協組)
- 幹事・顧問 大島信二(新潟県なまめん工業協組)
- 幹事・相談役 奥野貴史(京都府製麺卸協組)
- 監査 秋田勇人(愛知県製麺工業協組)

nippn

めん用粉 桜小町

明るく冴えた色合いのめんが
でき上ります。粘弾性に優れ、
しなやかな食感が特長です。
変色も少なく生めん用にも適し
ています。

中華めん用粉 焔神 (えんじん)

茹で伸びの遅い中華めんに
仕上がりに、おいしさが最後
まで続きます。
弾力のある食感が特長です。



おいしいめん作りは
まず小麦粉選びから。

株式会社 ニッポン

- 東京支店 TEL.(03)3350-2440~1
- 名古屋支店 TEL.(052)203-1243
- 広島支店 TEL.(082)243-2200
- 関東支店 TEL.(03)3350-3604
- 大阪支店 TEL.(06)6448-5745
- 福岡支店 TEL.(092)451-5711
- 仙台支店 TEL.(022)711-1157
- 高松営業所 TEL.(087)851-5220
- 札幌支店 TEL.(011)261-2481



<https://www.nippn.co.jp>

第37回通常総会をひらく

全国めん類衛生技術センター

全国めん類衛生技術センター(鳥居憲夫会長)は6月8日(水)東京都港区・品川プリンスホテルにおいて、第37回通常総会を開催した。

開会の言葉を岩田 功副会長(元シマダヤ(株)常務取締役、現シマダヤ関東(株)代表取締役社長)が述べ、主催者代表挨拶を鳥居憲夫会長が述べた。

所管官庁挨拶には厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課より三木 朗課長にご臨席を賜りご挨拶をいただいた。

議長には、鳥居憲夫会長が就任し、議事録署名人選出には議長及び小谷 茂常務理事(日清製粉(株)常務取締役)と木村富雄常務理事(㈱ニッポン上席執行役員)を選出した後、議案の審議を行ない、監査報告は藤原正敏監事(名城食品(株)代表取締役社長)より報告され、提出された全ての議案は満場一致をもって異議なく可決し可決された。

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 令和3年度決算報告承認の件
 - 第3号議案 令和4年度事業計画決定の件
 - 第4号議案 令和4年度収支予算決定の件
 - 第5号議案 令和4年度会員の会費の分担基準およびその納入方法決定の件
 - 第6号議案 役員改選の件
- 閉会の言葉 木村富雄常務理事が述べ閉会した。
- (令和4年度の主な事業の実施内容)

- ① 会議の開催
- ② 関連する団体が行う事業への協力
- ③ 会員の品質・衛生向上に資するための印刷物等の配布
- ④ 的確な情報の提供

- ⑤ 製品検査(生めん類)の実施
- ⑥ 品質・衛生管理体制の基盤強化に関する事業
- ⑦ 関係行政機関及び団体との連携の強化
- ⑧ 新規会員の加入促進
- ⑨ その他、必要と認められる事業

(役員名) (役員の役職は7月1日現在)

会 長 鳥 居 憲 夫

副会長 岡田 賢二

(シマダヤ(株)専務取締役生産物流本部長兼

経営企画部管掌)

専務理事 加藤 吉郎

(全国製麺協組連技術部長)

常務理事 桑 崎 俊 昭

(一社)全国発酵乳酸菌飲料協会専務理事)

同 木 村 富 雄

(株式会社ニッポン取締役常務執行役員製

粉事業本部長)

同 伊 勢 英 一 郎

(日清製粉(株)常務取締役製粉事業本部長)

理 事 菅 野 善 男

(㈱カンノ代表取締役社長)

理 事・会計担当 西 山 隆 司

(西山製麺(株)代表取締役社長)

理 事 高 橋 郁 雄

(日清食品チルド(株)経営管理部長)

同 桑 山 和 基

(一社)日本冷凍めん協会専務理事)

監 事 藤 原 正 敏

(名城食品(株)代表取締役社長)

(一社)日本冷凍めん協会専務理事)



日清製粉

北海道産小麦使用【地粉】

道産子U



函館工場で製造しました

北海道産地粉のもっちりした粘りと弾力。北海道の恵みが、麺を美味しくします。



(標準値) 灰 分 0.36%
粗蛋白 8.5%
(重 量) N E T 25kg

日清製粉株式会社 営業本部営業部 〒101-8441 東京都千代田区神田錦町1-25 TEL.03(5282)6360
 会員制業務用お役立ちサイト「e-創・食Club」 <https://www.e-sousyoku.com>

第19回通常総会ひらく

一般社団法人日本冷凍めん協会

(一社) 日本冷凍めん協会(吉岡清史会長)は6月8日(水)東京都港区・品川プリンスホテルにおいて、第19回通常総会を開催した。



吉岡 清史 会長

(2022年度基本方針および具体的な施策)

〔基本方針〕

冷凍めんの安全・安心・おいしさを保証するための総合的な取り組みと、冷凍めんの価値を広く訴求する事業、更には会員企業への様々な支援を行うことで、冷凍めん業界の発展に寄与する。

(1) 消費者の信頼を得るための安全で安心な商品づくりのサポートを行う。

1) R M K 認定の工場監査

2) 製品検査

3) R M K 認定工場等会員工場支援

(2) R M K マークおよび冷凍めんの価値向上と浸透活動

1) W E B を通じての R M K マーク、協会品質保証システムの認知度を向上させらるに目指す。

2) 協会 H P 施策

3) 飲食店業界支援特別施策

4) 業界紙、関係団体協賛広告等での R M K マークの安全・安心をアピールする。

5) 調査・冷凍麺生産者に対する調査 2022年度分(市場規模調査)

(3) 会員企業からの要望・意見の集約と協会施策への展開

1) 冷凍めんの表示に関する公正競争規約制定に向けての活動を継続する。

2) 賞味期限年月表示推奨の課題解決と発信を実施する。

(4) 業界全体のレベルアップのための教育・コミュニケーション活動

1) W E B 勉強会の実施。

2) W E B セミナーの実施。

3) 研修旅行の実施。

(役員名) (役員の役職は7月1日現在)

会 長 吉岡 清史

〈テーブルマーク(株)代表取締役社長〉

副会長・会長代行 白 濁 昌彦

〈(株)キンレイ代表取締役社長〉

副会長 岡田 賢二

〈シマダヤ(株)専務取締役〉

同 木村 富雄

〈株式会社ニッポン取締役常務執行役員製粉事業本部長〉

同 伊勢 英一郎

〈日清製粉(株)常務取締役製粉事業本部長〉

同 鳥居 憲夫

〈全国製麺協組連会長〉

専務理事 桑山 和基

〈(一社) 日本冷凍めん協会専務理事〉

理事・会計担当 道 添 秀 樹

〈フレッシュ・フード・サービス(株)取締役社長〉

同 斎藤 和巳

〈東洋水産(株)低温食品部部長〉

理 事 上和田 公彦

〈日清食品冷凍(株)低温食品部部長〉

同 及川 俊則

〈マ・マーマカロニ(株)代表取締役社長〉

同 西山 隆司

〈西山製麺(株)代表取締役社長〉

理事・相談役 前場 敏男

〈全国製麺協組連理事(元会長)〉

監 事 奥 能理士

〈日本リッチ(株)代表取締役社長〉

同 堀 敬祐

〈堀敬祐公認会計士事務所〉

こだわりの品質、日東富士の麺用粉



日東富士製粉株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 TEL:03-3553-8781 (代表)

https://www.nittofuji.co.jp/

ラーメンコンペティション日本2022 —国内産小麦使用生中華麺品評会—を開催

全国製麺協同組合連合会は令和4年度に国内産小麦を使用した生中華麺の品評会を実施する。

国内産小麦粉を使用した生中華麺の更なる品質向上を図るとともに、国内産小麦の需要拡大の推進を図ることで、業界の発展と国内農業の振興に寄与することを目的に開催するものです。

組合員の皆様には、7月上旬に郵送にてご案内をしておりますので本品評会への出品をお願いします。

日程

- (1) 審査会
令和4年9月1日(木)

江東区総合区民センター(東京都江東区)

(2) 展示会

- ① 9月28日(水)、29日(木)

ラーメン産業展 in Japan

東京ビッグサイト東2・3ホール

- ② 10月12日(水)

第62回全国製麺業埼玉大会

パレスホテル大宮(埼玉県さいたま市)

※入場対象者は大会参加登録者になります。

(3) 表彰式

- 10月12日(水)

第62回全国製麺業埼玉大会 大会式典

パレスホテル大宮 3階チェリールーム

第62回全国製麺業者埼玉大会を開催

全国製麺協同組合連合会(烏居憲夫会長)と埼玉県生麺業協同組合(岩崎一隆理事長)が主催し、本年10月12日(水)にパレスホテル大宮(埼玉県さいたま市)で開催する。

埼玉県では江戸時代より小麦の栽培がさられ、熊谷うどん、加須うどん、深谷煮ぼうとう、武蔵野うどん(東京都、埼玉県地域)、鴻巣川幅うどんなど地域に根差したうどんがたくさんあります。

また、講演会講師には、自称「日本一ラーメンを食べた男」株式会社ラーメンデータバンク取締役会長の大崎裕史氏を迎え開催します。

ぜひ、大会に参加し、めん類に関する見識を深め、魅力あふれる埼玉県の歴史、食文化に触れてください。

【行事日程】

- [10月11日(火)]

・ 歓迎の集い(前夜祭) 午後6時〜8時

・ 料亭大宮「一の家」(埼玉県さいたま市)

[10月12日(水)] パレスホテル大宮

・ 講演会 午後2時〜3時30分

・ 大会式典 午後3時45分〜5時

・ 展示会 午後1時〜5時

・ 懇親懇談会 午後5時30分〜7時30分

農林水産省補助事業 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業

事業概要について

輸入小麦をはじめとした価格が高騰している輸入食品原材料を使用している食品製造事業者等に対し、原材料を切り替えた新商品等の生産・販売(価格転嫁に見合う付加価値の高い新商品の開発を含む)や、原材料の使用コストを削減した新商品等の生産・販売、新たな生産方法の導入等の取組を臨時的に支援します。

補助金交付対象となる事業の内容

1. 原材料を切り替えた新商品等の生産・販売の取組

(価格転嫁に見合う付加価値の高い新商品の開発を含む)

・ 輸入小麦から米粉・国産小麦への切替

や、付加価値の高い新商品等の開発

・ 輸入大豆から国産大豆への切替など(地域色のある国産大豆を使用しPR)

・ 新商品(高付加価値化を含む)のPR

2. 原材料の使用コストを削減した新商品

等の生産・販売、新たな生産方法の導入

等の取組

・ 揚げ油の劣化防止装置の導入

・ 新商品のための製造ラインの変更・増設

・ その他・原材料混合比率の変更(そば等)

／ノンフライ製法への転換、など

支援対象経費

・ 新商品開発費(試作品の原材料、機械費、調査経費を含む)

・ 原材料切替等に伴う機械導入

・ 製造ラインの変更・造設費

・ 食品表示変更に伴う包材資材の更新

(デザイン作成、初期費用、廃棄包装資材相当数分に限り)

・ 新商品PR費、新商品(主食)の市販段階における原材料費

(販売促進のための一定期間)等の一時的経費等

補助上限

- ・ 採択1件当たりの補助上限は2億円、下限は100万円(ただし、新商品の市販段階における原材料費の1件当たりの補助上限は、上記とは別に1億円とする。)

公募期間

- ・ 令和4年6月30日(木)〜7月28日(木)17時迄

職人の技と力を引き立てる、「めんのちから」。



【力強いコシのある食感】

手打製法に最適な小麦粉でソフトで弾力の強い食感を引き出します。舌先でも、茹で伸びの遅い麺質が得られます。

【明るい黄色みのある色相】

小麦本来の色とつやにこだわりました。

【上品な小麦粉の旨みと風味】

上質な小麦と挽き方にこだわりました。



昭和産業株式会社

本社 東京都千代田区神田2-2-1 錦糸河岸ビル TEL.(03)3257-2904
http://www.showa-sangyo.co.jp

家計調査 (総務省統計局発表資料より)

二人以上の世帯 支出金額 [円]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比	
2022	麺類	1,535	1,535	1,594	1,594	1,665										
	生うどん・そば	296	279	279	278	279										
	乾うどん・そば	58	57	91	159	210										
	パスタ	105	111	131	115	111										
	中華麺	331	334	346	360	405										
	カップ麺	475	497	489	441	429										
	即席麺	208	199	201	183	174										
	他の麺類	61	57	55	58	57										

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2021	麺類	1,555	1,426	1,533	1,601	1,740	1,756	1,888	1,784	1,524	1,485	1,489	1,896	19,677	95.5
	生うどん・そば	312	270	271	283	306	272	280	274	252	264	274	462	3,520	94.2
	乾うどん・そば	57	56	85	150	209	390	476	269	96	85	114	169	2,156	89.4
	パスタ	113	106	119	120	118	98	96	108	108	101	96	105	1,288	87.2
	中華麺	349	314	336	367	430	429	465	466	359	318	307	327	4,467	94.4
	カップ麺	458	435	477	440	436	378	381	447	468	466	452	561	5,399	102.8
	即席麺	200	182	182	180	175	137	139	161	184	194	192	217	2,143	96.0
	他の麺類	66	64	63	61	66	52	52	59	58	55	52	56	704	91.5

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2020	麺類	1,335	1,442	1,825	1,921	1,909	1,813	1,866	1,846	1,552	1,517	1,540	2,037	20,603	116.3
	生うどん・そば	288	279	310	324	341	288	284	285	249	280	306	501	3,735	113.8
	乾うどん・そば	79	58	115	168	271	399	421	387	124	70	98	220	2,410	113.5
	パスタ	90	119	161	181	138	109	114	112	115	110	107	120	1,476	126.2
	中華麺	280	299	389	458	503	465	448	491	368	356	329	343	4,729	121.1
	カップ麺	384	439	535	473	400	359	395	368	460	441	441	554	5,249	114.9
	即席麺	157	188	248	225	176	136	146	146	180	199	197	233	2,231	121.1
	他の麺類	56	59	67	92	81	57	58	56	56	60	61	66	769	116.3

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2019	麺類	1,297	1,264	1,430	1,392	1,493	1,559	1,696	1,656	1,339	1,446	1,378	1,762	17,712	102.0
	生うどん・そば	281	253	251	255	261	246	247	243	226	266	282	472	3,283	99.1
	乾うどん・そば	55	53	83	121	229	335	437	345	105	74	112	174	2,123	94.1
	スパゲッティ	93	98	112	106	97	96	95	94	94	100	89	96	1,170	100.4
	中華麺	277	267	310	313	367	374	402	420	304	297	279	295	3,905	99.7
	カップ麺	375	373	438	391	352	334	348	379	399	472	387	477	4,725	110.3
	即席麺	158	162	180	148	128	119	114	125	159	183	176	191	1,843	104.5
	他の麺類	57	58	56	58	59	54	53	51	52	55	52	56	661	99.0

(外食)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2022	外食	11,504	8,171	11,187	11,392	13,492									
	一般外食	10,590	7,286	10,709	10,859	12,448									
	食事代	9,575	6,717	9,724	9,588	10,968									
	日本そば・うどん	405	321	438	473	542									
	中華そば	484	388	499	461	561									
	他の麺類外食	161	117	190	169	208									

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2021	外食	8,829	8,851	11,146	9,552	9,612	9,094	10,964	10,084	8,987	11,990	12,401	13,913	125,423	96.6
	一般外食	8,028	7,986	10,574	8,996	8,547	8,049	10,124	9,445	8,087	11,098	11,367	12,995	115,296	95.3
	食事代	7,443	7,320	9,602	8,189	7,922	7,351	9,191	8,682	7,459	9,943	10,021	11,183	104,306	98.4
	日本そば・うどん	315	324	408	373	402	365	482	438	387	487	492	515	4,988	102.1
	中華そば	395	395	487	469	463	427	498	483	443	491	541	555	5,647	101.5
	他の麺類外食	135	131	153	140	148	148	156	128	152	190	192	216	1,889	107.4

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2020	外食	15,458	12,902	10,744	5,127	6,547	9,189	10,496	11,594	11,190	12,413	12,669	11,396	129,725	73.3
	一般外食	14,434	11,945	10,370	4,776	6,111	8,563	9,646	11,031	10,271	11,555	11,675	10,543	120,920	72.5
	食事代	11,675	9,879	8,988	4,429	5,709	7,641	8,510	9,889	9,097	10,160	10,420	9,595	105,992	76.3
	日本そば・うどん	539	453	426	157	208	355	418	465	448	450	511	455	4,885	74.5
	中華そば	613	535	493	228	300	421	475	533	516	528	466	455	5,563	77.2
	他の麺類外食	193	183	147	54	85	122	139	161	169	169	190	146	1,758	66.7

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年比
2019	外食	14,757	12,475	15,490	14,562	15,937	13,814	14,300	17,309	14,252	13,010	14,673	16,338	176,917	103.1
	一般外食	13,833	11,556	15,057	14,053	14,719	12,860	13,435	16,882	13,350	11,972	13,680	15,314	166,711	103.2
	食事代	11,454	9,728	12,507	11,730	12,565	10,758	11,281	14,444	11,245	10,020	11,302	11,954	138,988	102.3
	日本そば・うどん	480	422	571	534	611	515	529	716	564	489	545	577	6,553	106.3
	中華そば	616	518	640	592	615	560	589	743	614	534	611	571	7,203	109.5
	他の麺類外食	219	175	214	205	235	201	234	284	231	197	215	227	2,637	115.6